



# 世界の大学ランキング：2009年

— その動向と帰国・海外生への影響 —

INFOE（海外子女教育情報センター）代表

松本 輝彦

イギリスの教育専門誌が、2004年から毎年、世界の大学を評価してランキングを発表しています。

今年の結果の紹介・解説を試み、2007年のランキングと比較しながら最近の動向を探ってみます。

さらに、この競争が海外の子どもたちの教育や大学進学にどのような影響を与えるのかを考えてみます。

## 世界の大学ランキング

イギリスの教育専門誌が、毎年恒例の「World University Ranking 2009」というレポートを、10月に発表しました。

このレポートには、「大学研究者の相互評価」「世界の有力な公・私企業の大学卒業生のリクルート担当者の評価」「外国人教員数・留学生数・教員一人当たりの学生数・教員一人あたりの論文引用数の4種類のデータが評価」を数値化して、総合点で順位を決めたものです。

### どの大学が？

上位200大学の2009年の総合点の順位にリストしたものが、右ページの表です。

世界の13ヶ国の大学が入っており、上位20は英語圏の大学になっています。さらに、2007年の順位と比較すると、多少の変動は見られるものの、下位の4大学が2年間に入れ替わっているだけで、大きな変化は見られません。

### どの国の大学？

上位100大学の国別の数（2007年と2009年）を下の表にまとめました。その傾向を見てみると：

1. アメリカの大学が3分の1を占めている。
  2. イギリス・オーストラリア・カナダ（かつての大英帝国の国々）の大学が3分の1を占めている。
  3. それらに香港・シンガポールを加えると、英語圏の大学が全体の7割を占める。
- これらの傾向は、2007年でも見られ、2年間での大きな動きはありません。

TOP100 大学の国別数

順位	国	大学数	
		2009	2007
1	United States	32	37
2	United Kingdom	19	19
3	Australia	8	8
4	日本	6	4
5	Canada	4	6
6	Netherlands	4	4
7	Germany	4	3
8	Switzerland	4	1
9	Hong Kong	3	3
10	France	2	2
11	Singapore	2	2
12	China	2	3
13	Ireland	2	1
14	Korea, South	2	1
15	Sweden	2	1
16	Belgium	1	1
17	Taiwan	1	---

### 日本の大学は？

上位200に登場している日本の大学をランク順に、2007年・2008年の順位とともに、下の表にまとめました。

その動向をみると：

1. 上位100位までに6大学、200位までには11大学が入っている。前年と比べると、200位までの大学数は変わらないが、100位では2校増えている。
2. 2008年からの2009年にかけて、上位の大学の順位上昇が顕著に見られる。
3. 東京大学は、今回の調査で、非英語圏の大学としてトップとみなせるが、3年連続で順位を下げている。

日本の大学（TOP200）

順位	大学	
	2009	2008
22	19	17
25	25	25
43	44	46
55	61	90
92	120	112
97	112	102
142	214	161
148	180	180
155	158	136
171	174	151
174	216	---
---	---	197
		神戸大学

☆

どんな分野のランキングにも、順位を決めるための特有の評価方法・基準があります。

ここで紹介した「世界の大学ランキング」は、イギリスの教育関連企業が、世界の600総合大学を先に述べた基準で評価したもので、その評価基準自体に、イギリスの文化や価値観などが反映されていることは否定できません。このランキングに批判的な人たちはその影響を指摘しています。

しかし、このランキングは、ホームページで年間5百万人が参照し、世界の500以上の新聞・雑誌で紹介されているとのことですので、保護者を含めた大学教育に関心のある人たちへの影響力は大きなものがあります。

日本の「留学生30万人計画」に象徴される、教育のグローバル化の中、他のランキングも含めて、多くの人たちが注目しています。興味のある方は、英語ですが、次のサイトへどうぞ。

<http://www.timeshighereducation.co.uk/>